

# 令和5年度特定健康診査データを 活用したリスク因子状況の分析結果

令和7年7月

全国健康保険協会富山支部  
富山県厚生部厚生企画課

# 分析の概要

## ○対象

令和5年度における健診受診者(40～74歳) 195,620名

(内訳) 市町村国民健康保険特定健康診査受診者 55,679名

協会けんぽ生活習慣病予防健診受診者 139,941名

※富山県の健診受診者(295,694人)の66.2%

| 年齢階級<br>(歳) | 市町村国保  |        | 協会けんぽ  |        | 合計      |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
|             | 男性     | 女性     | 男性     | 女性     | 男性      | 女性     |
| 40-44歳      | 675    | 713    | 12,919 | 8,986  | 13,594  | 9,699  |
| 45-49歳      | 922    | 1,004  | 16,529 | 12,218 | 17,451  | 13,222 |
| 50-54歳      | 1,165  | 1,349  | 17,019 | 12,768 | 18,184  | 14,117 |
| 55-59歳      | 1,138  | 1,452  | 12,593 | 10,179 | 13,731  | 11,631 |
| 60-64歳      | 1,904  | 3,239  | 10,752 | 7,444  | 12,656  | 10,683 |
| 65-69歳      | 5,642  | 9,146  | 7,759  | 3,918  | 13,401  | 13,064 |
| 70-74歳      | 11,128 | 16,202 | 4,678  | 2,179  | 15,806  | 18,381 |
| 合計          | 22,574 | 33,105 | 82,249 | 57,692 | 104,823 | 90,797 |

※市町村国保の受診者数は、「国保データベース(KDB)補完システム」を活用して抽出

## ○内容

健診項目ごとの有所見率を年齢調整した上で市町村比較するために標準化該当比を算出し、地図に表す。

## ○分析項目

| 健診の指標                               | 健診の指標                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| ① 腹囲 $\geq 85/90\text{cm}$          | ⑨ 高血圧 ( $\geq 140/90\text{mmHg}$ または服薬) |
| ② BMI $\geq 25\text{kg/m}^2$        | ⑩ II度高血圧( $\geq 160/100\text{mmHg}$ )   |
| ③ 空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$      | ⑪ III度高血圧( $\geq 180/110\text{mmHg}$ )  |
| ④ HbA1c $\geq 6.5\%$                | ⑫ 服薬中(血圧)                               |
| ⑤ 服薬中(血糖)                           | ⑬ 高血圧の者のうち服薬中(血圧)                       |
| ⑥ 中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$       | ⑭ 喫煙者                                   |
| ⑦ HDLコレステロール $< 40\text{ mg/dl}$    | ⑮ メタボリックシンドローム該当者                       |
| ⑧ LDLコレステロール $\geq 140\text{mg/dl}$ |                                         |

# 標準化該当比の算出について

- 標準化該当比は、性別年齢構成が市町村により異なるのを補正する目的で算出するもの。
- 特定健診の各指標について、市区町村・性・年齢階級(5歳区分)別の「実施人数」と「うち基準に該当する人数」をもとに算出。
- 県(基準集団)での有所見率を100として、標準化該当比が100より大きい場合は有所見率が県より高く、100より小さい場合は有所見率が県より低いことを示す。
- 今回は、標準化該当比を計算し、「有意に高い」、「高いが有意ではない」、「低いが有意ではない」、「有意に低い」の4段階に区分した。  
※「有意ではない」：統計上、偶然変動の範囲の可能性がある。
- 受診者数または該当者数が10人未満となるデータは削除しているため、欠損値となる。

# 計算式

標準化該当比は、標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて、男女別に次式で計算した。

$$\text{標準化該当比} = \frac{x}{E} \times 100 = \frac{\sum_{j=1}^K r_j}{\sum_{j=1}^K n_j I_j} \times 100$$

ここで、 $x$ は観測該当人数、 $E$ は期待該当人数、

$r_j$ : 当該市区町村の年齢階級 $j$  ( $=1..K$ )の該当人数、

$n_j$ : 当該市区町村の年齢階級 $j$ の実施人数、

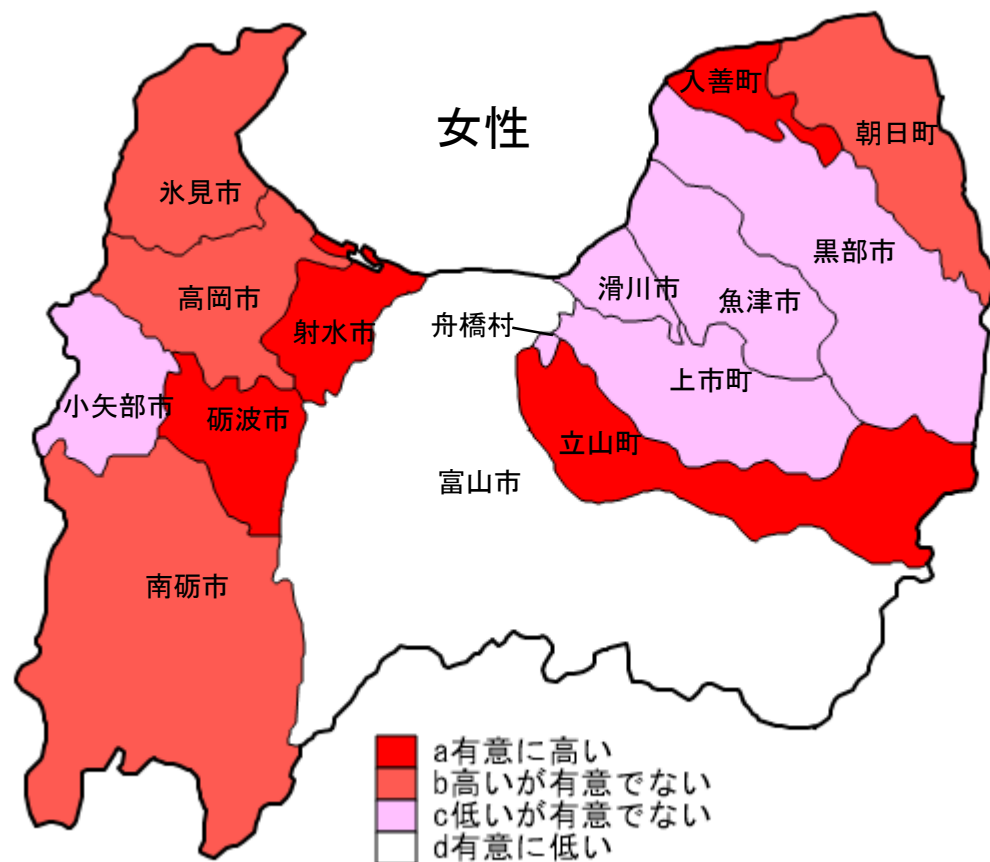
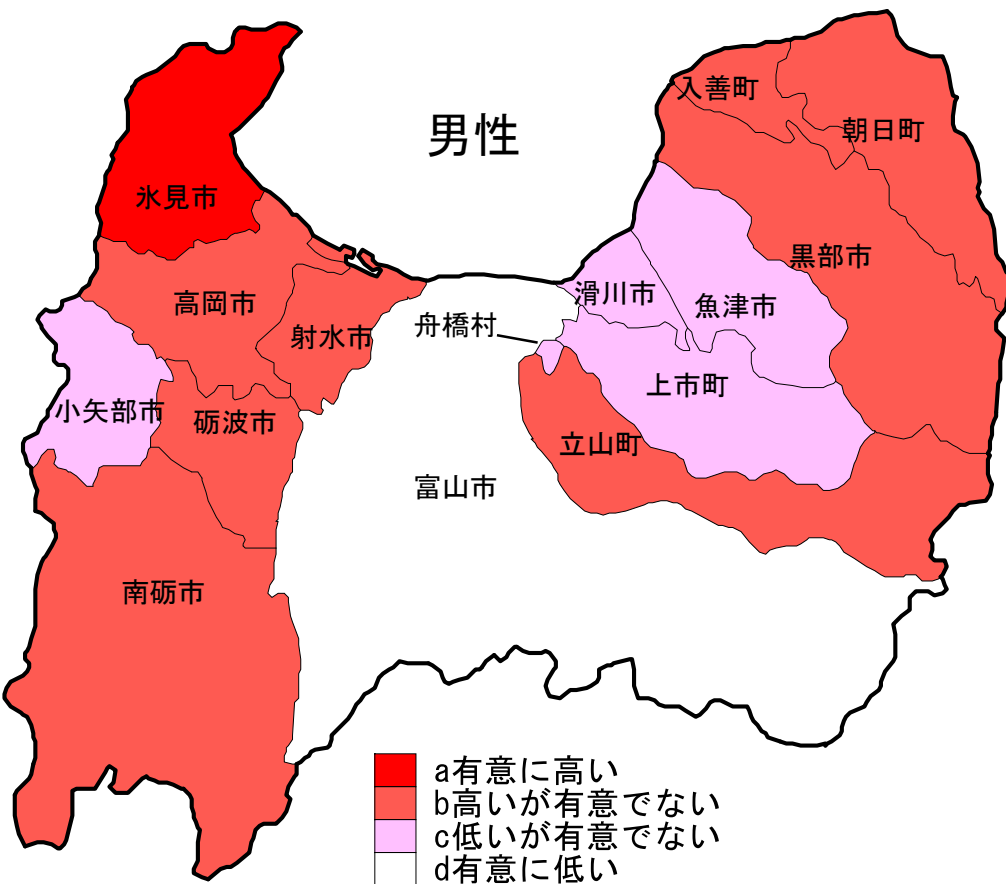
$I_j$ : 当該市区町村が属する(都道府)県全体の年齢階級 $j$ の該当割合、  
年齢階級は40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74歳の7階級であり、40-74歳について計算した。

有意差検定は、

$$Z = \frac{|x - E| - 0.5}{\sqrt{E}} > Z(0.05/2) = 1.96$$

ならば有意水準5%(両側検定)で有意とした。

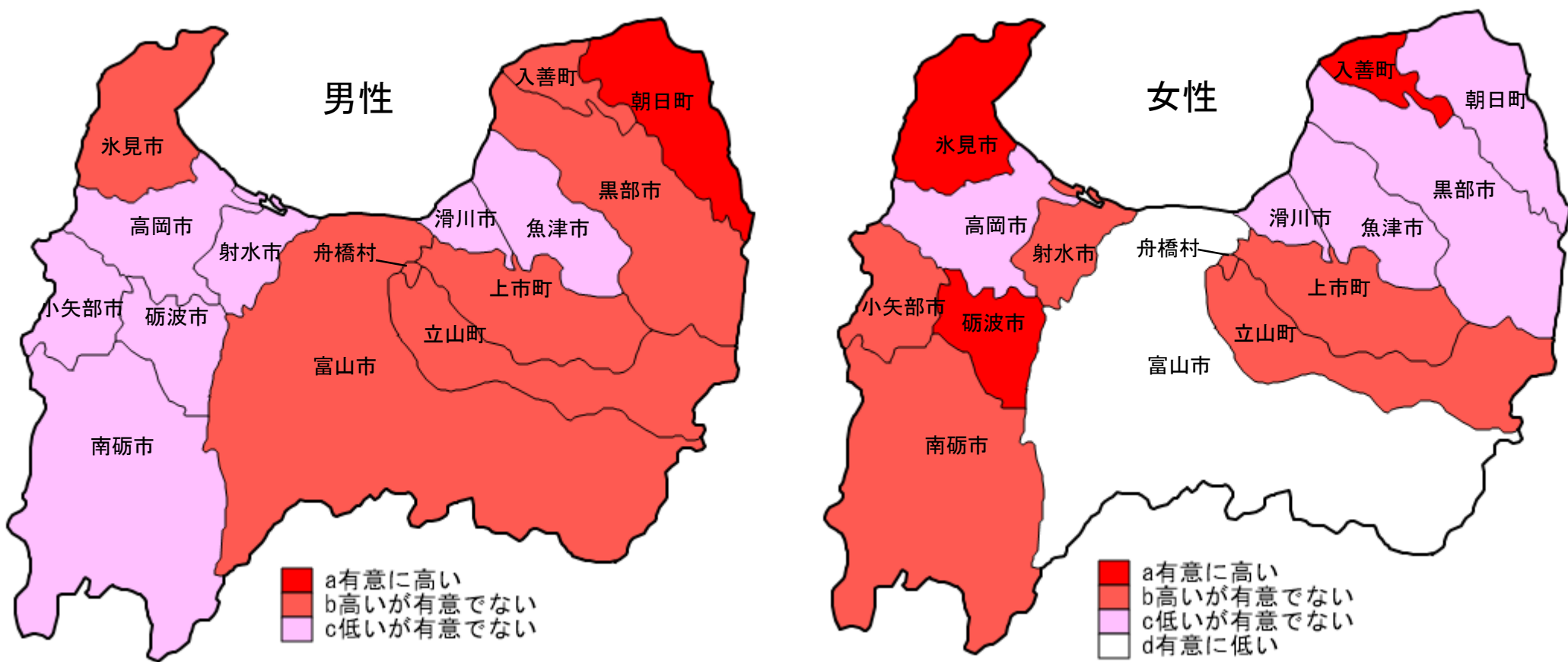
# ①腹囲 $\geq 85/90$ cm



腹囲については、男性では氷見市が、女性では射水市・砺波市・立山町・入善町が有意に高かった。

一方、男女とも富山市が有意に低かった。

## ②BMI $\geq 25\text{kg}/\text{m}^2$

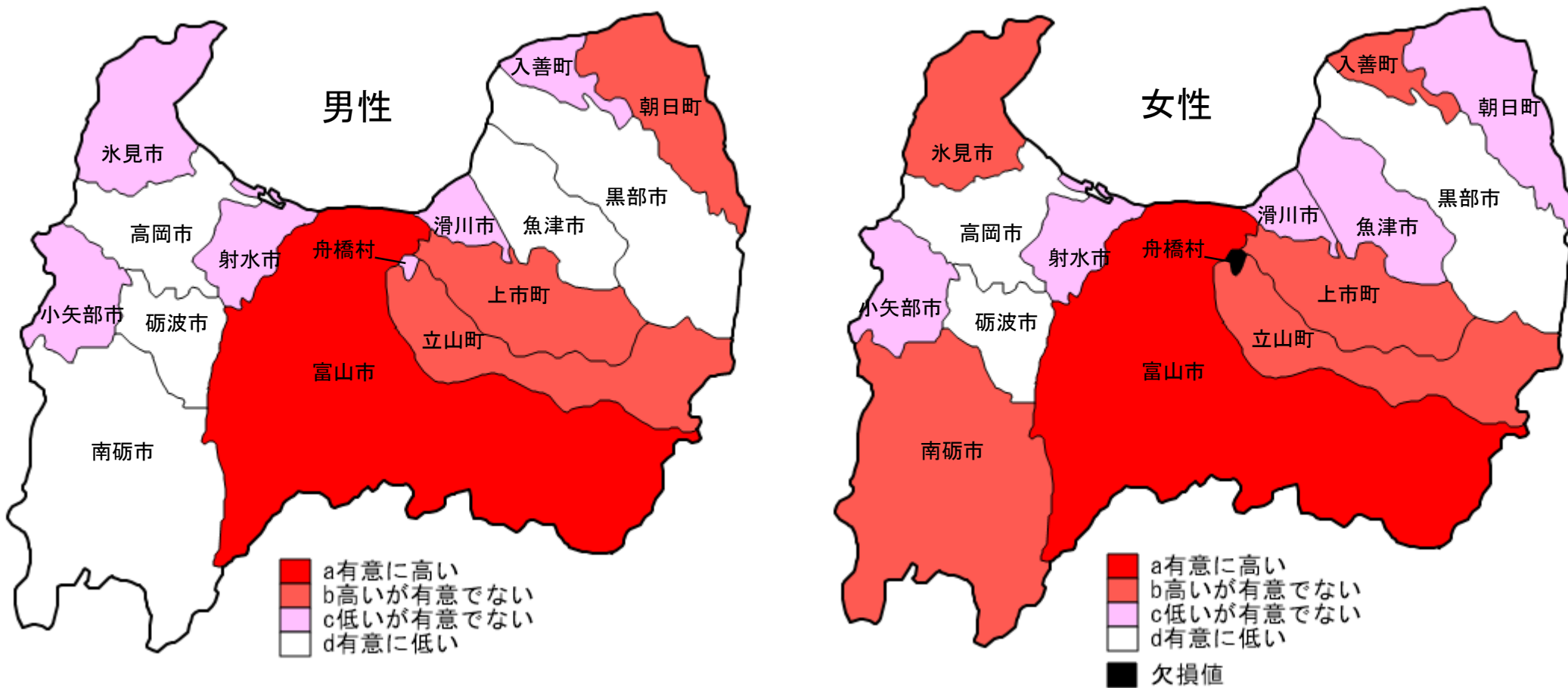


BMIについては、男性では朝日町が、女性では氷見市・砺波市・入善町が有意に高かった。

一方、女性では富山市が有意に低かった。

# ③空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$

※該当者数:協会けんぽ7,760人 国保714人

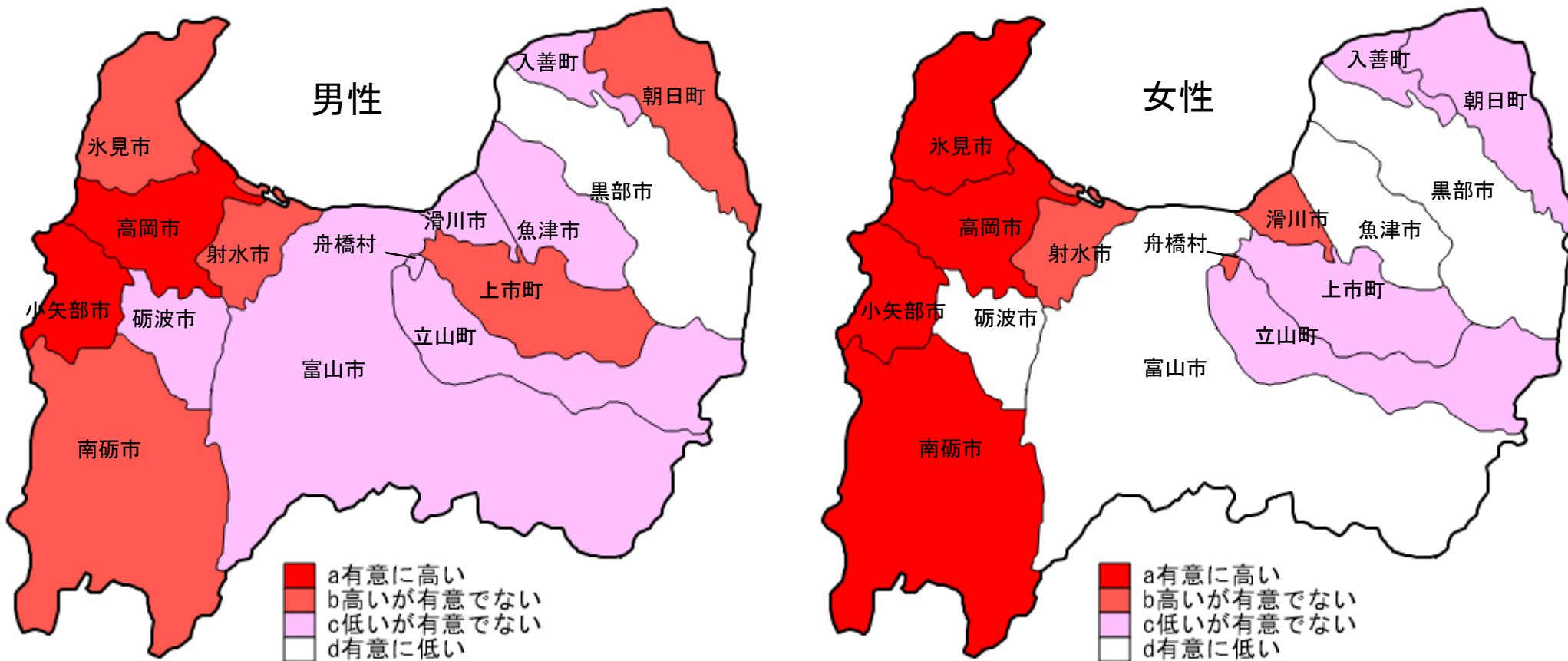


空腹時血糖( $\geq 126\text{mg/dl}$ )については、男女とも富山市が有意に高かった。

一方、男女とも高岡市・砺波市・黒部市が有意に低かった。さらに男性では南砺市・魚津市が有意に低かった。

# ④HbA1c $\geq 6.5\%$

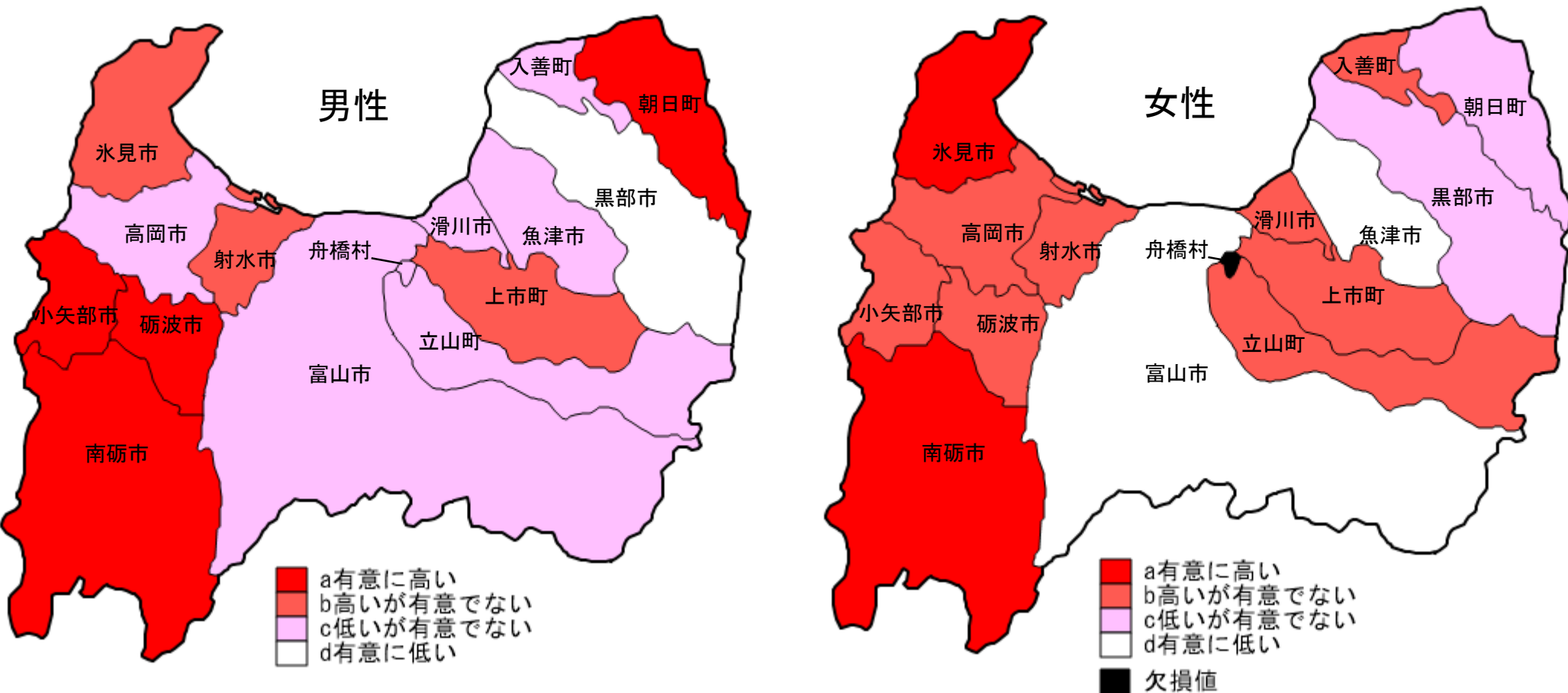
※該当者数：協会けんぽ8,129人 国保6,205人



HbA1c( $\geq 6.5\%$ )については、男女とも高岡市・小矢部市が有意に高かった。さらに女性では氷見市・南砺市が有意に高かった。

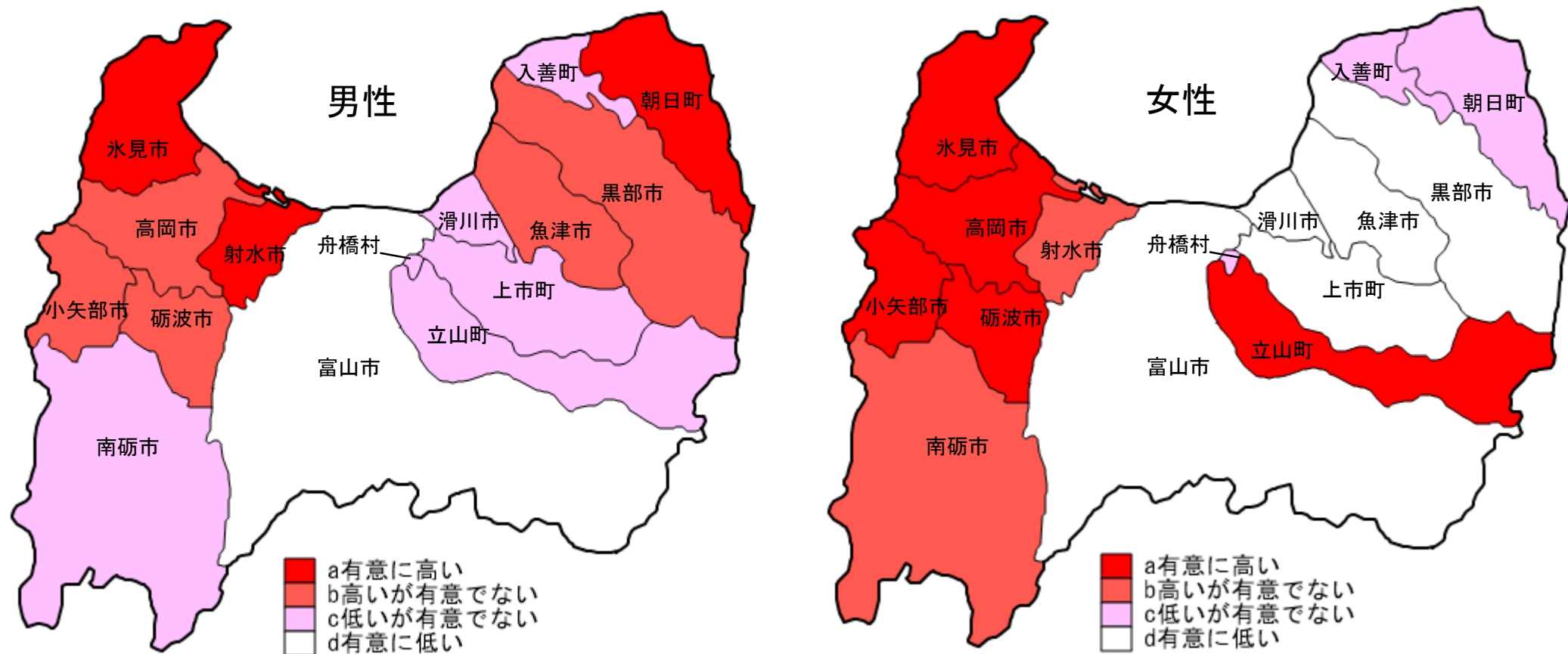
一方、男女とも黒部市が有意に低かった。さらに女性では砺波市・富山市・魚津市が有意に低かった。

## ⑤服薬中（血糖）



服薬中（血糖）については、男女とも南砺市が有意に高かった。さらに男性では小矢部市・砺波市・朝日町が、女性では氷見市が有意に高かった。  
一方、男性では黒部市が、女性では富山市・魚津市が有意に低かった。

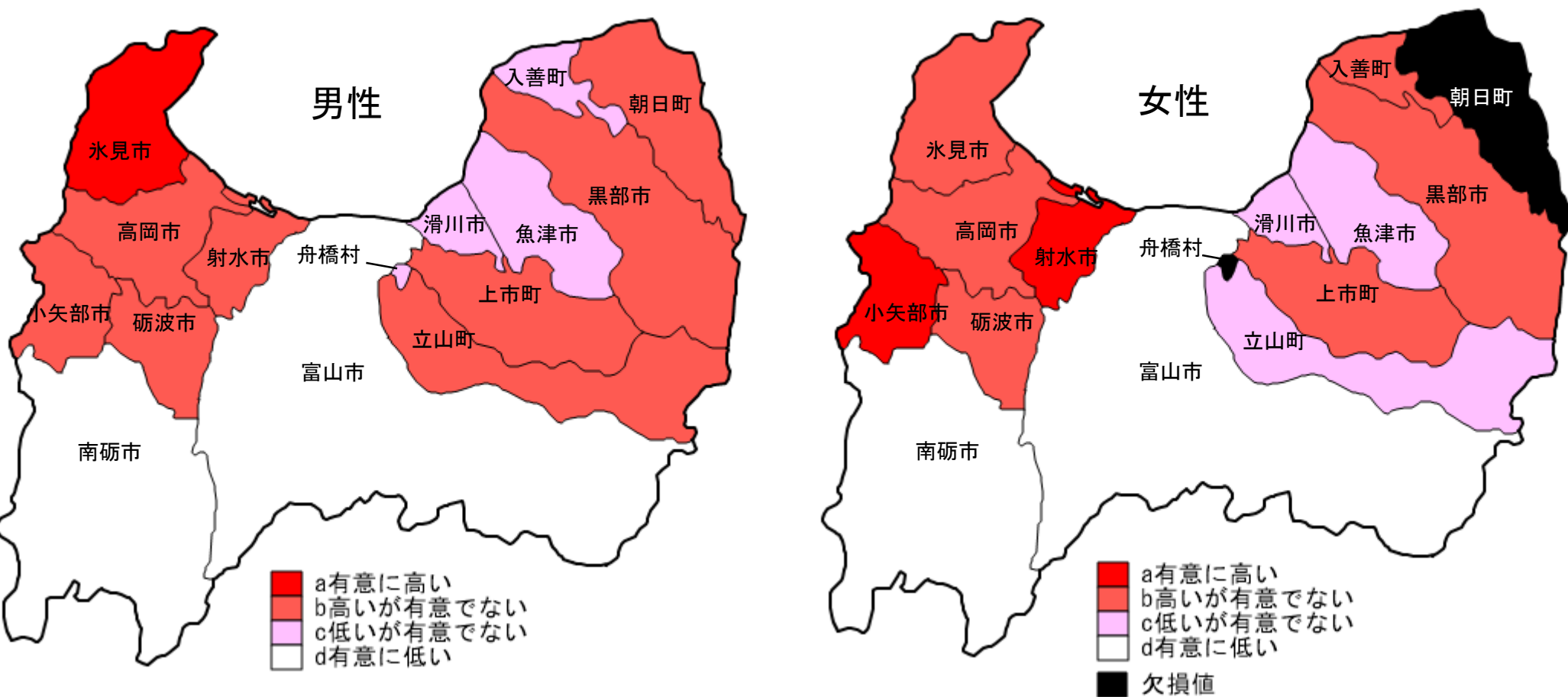
## ⑥中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$



中性脂肪( $\geq 150\text{mg/dl}$ )については、男女とも氷見市が有意に高かった。さらに男性では射水市・朝日町が、女性では高岡市・小矢部市・砺波市・立山町が有意に高かった。

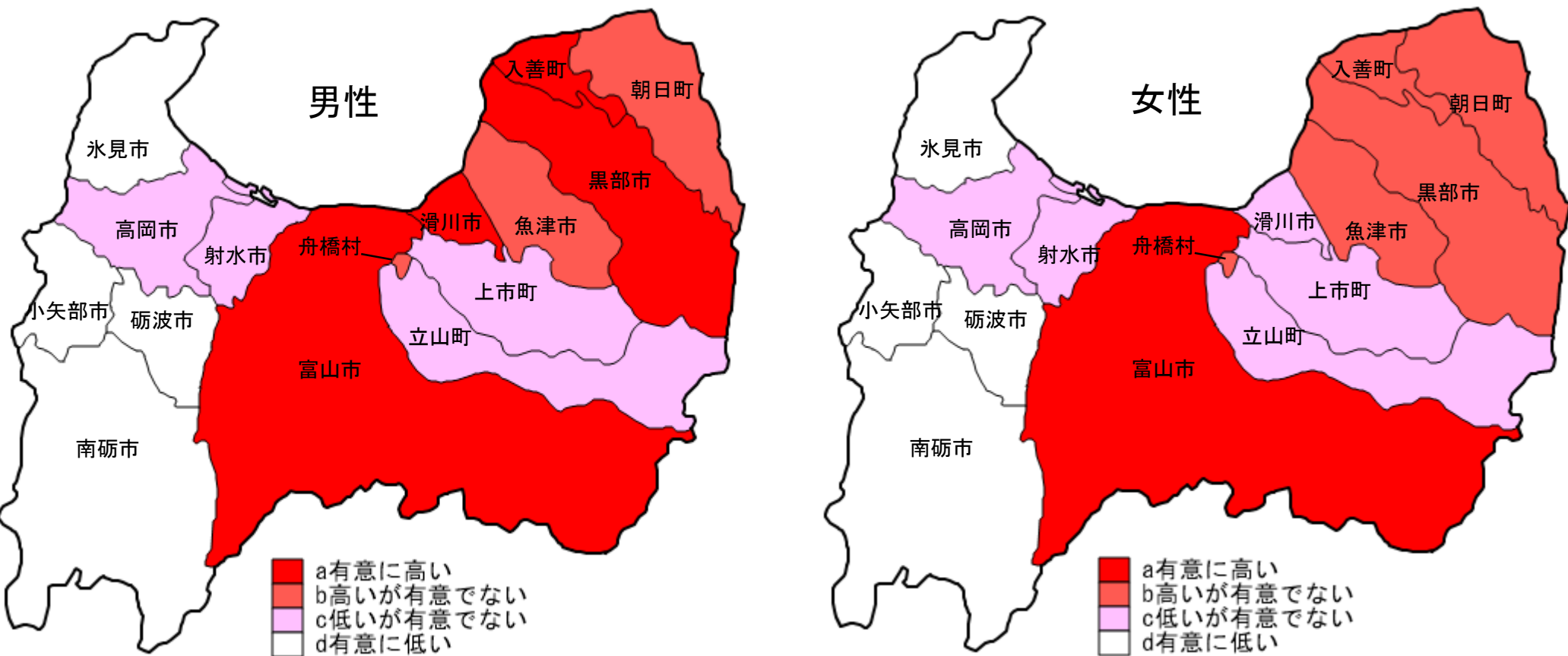
一方、男女とも富山市が有意に低かった。さらに女性では滑川市・上市町・魚津市・黒部市が有意に低かった。

# ⑦HDLコレステロール<40mg/dl



HDLコレステロール(<40mg/dl)については、男性では氷見市が、女性では小矢部市・射水市が有意に高かった。  
一方、男女とも南砺市・富山市が有意に低かった。

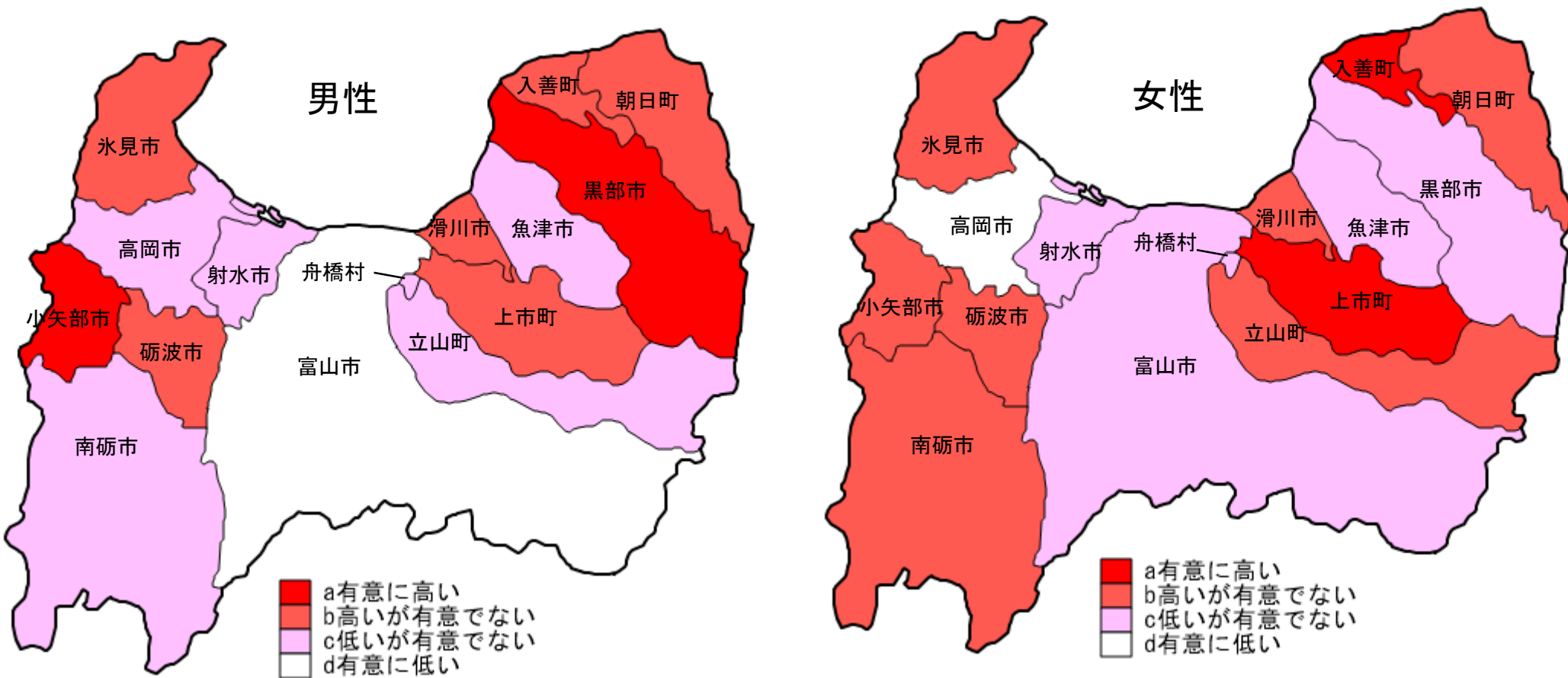
## ⑧LDLコレステロール $\geq 140\text{mg/dl}$



LDLコレステロール( $\geq 140\text{mg/dl}$ )については、男女とも富山市が有意に高かった。さらに男性では滑川市・黒部市・入善町が有意に高かった。

一方、男女とも氷見市・小矢部市・砺波市・南砺市が有意に低かった。

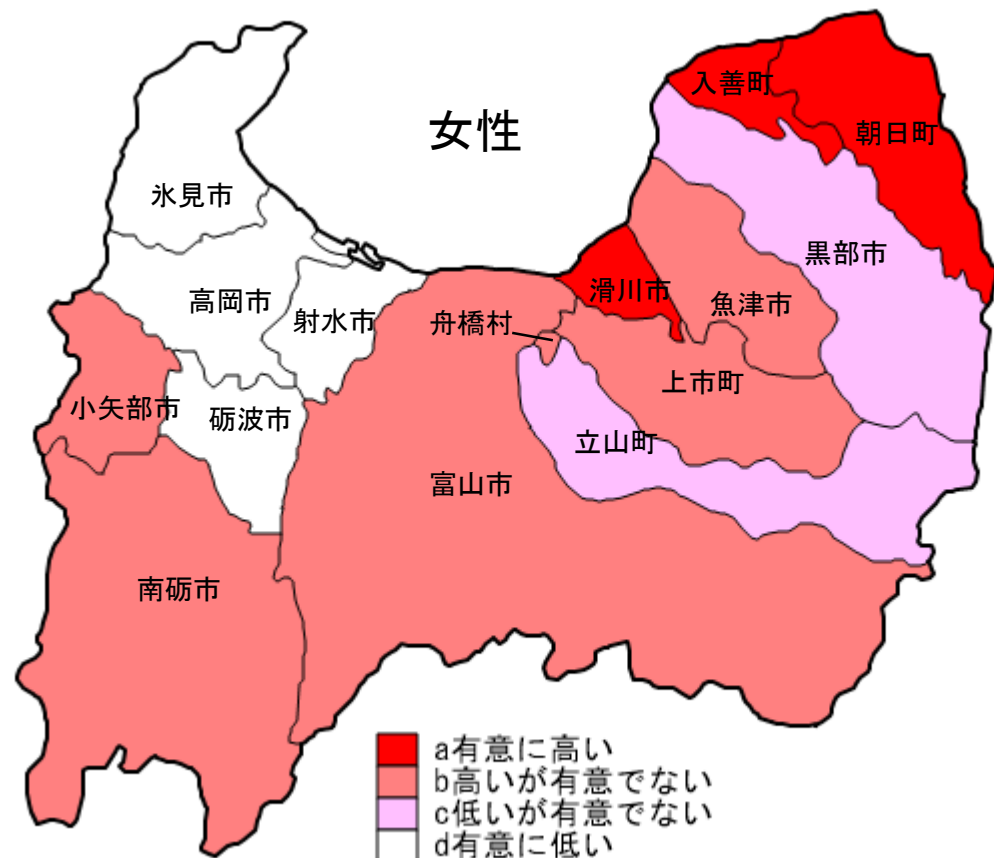
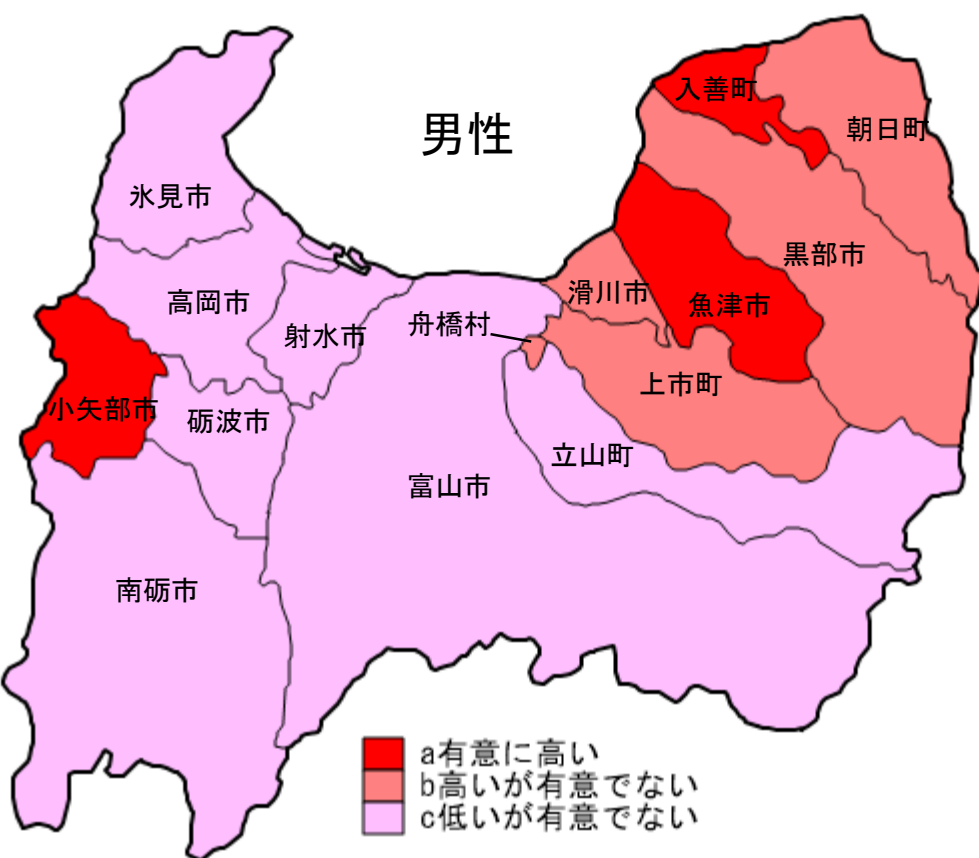
# ⑨高血圧( $\geq 140/90\text{mmHg}$ または服薬)



高血圧( $\geq 140/90\text{mmHg}$ または服薬)については、男性では小矢部市・黒部市、女性では上市町・入善町が有意に高かった。

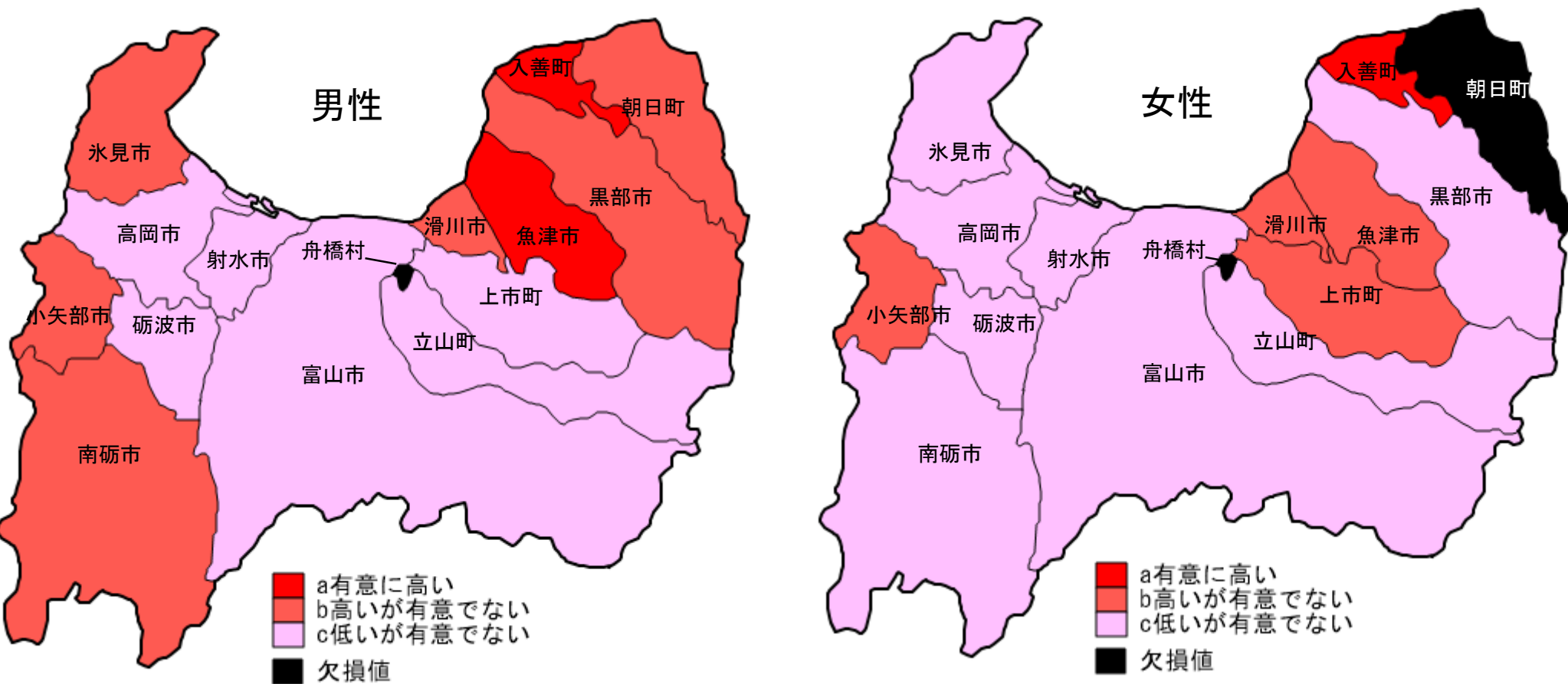
一方、男性では富山市が、女性では高岡市が有意に低かった。

# ⑩Ⅱ度高血圧(≥160/100mmHg)



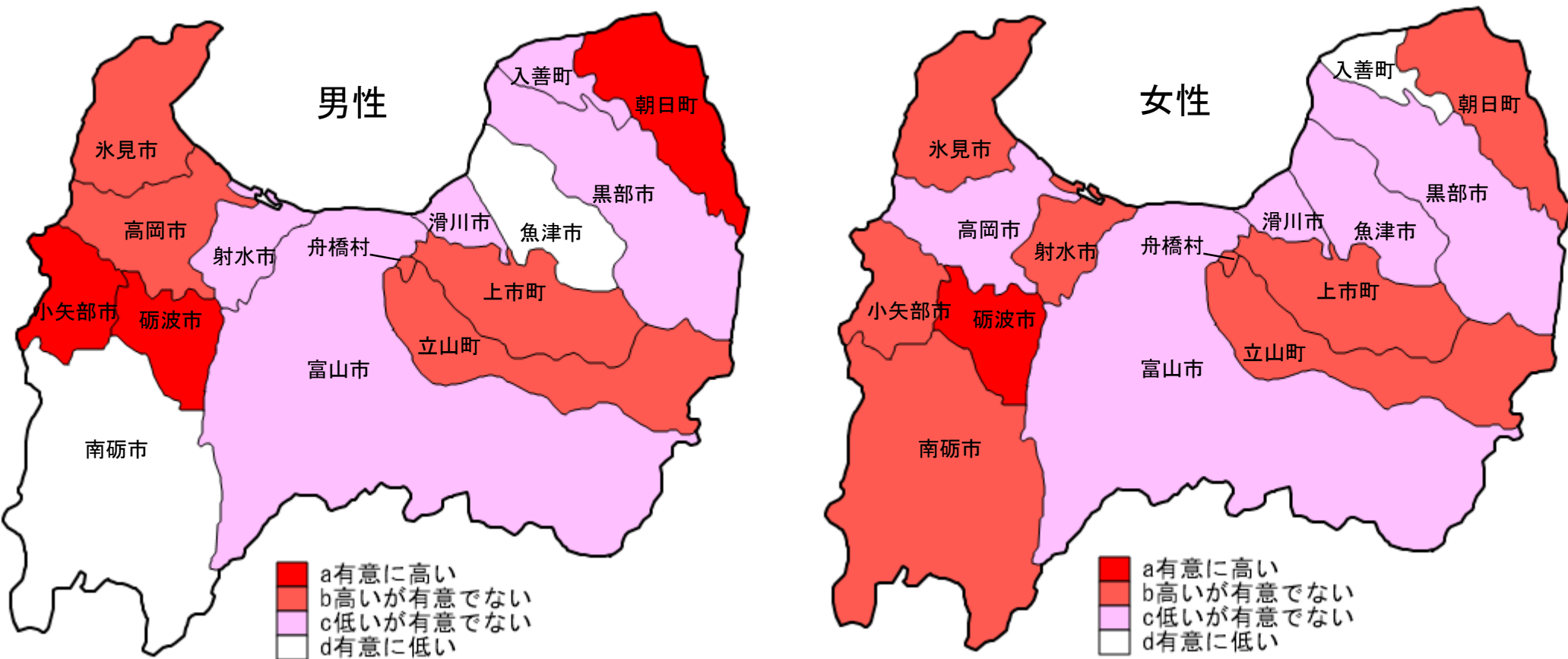
Ⅱ度高血圧(≥160/100mmHg)については、男女とも入善町が有意に高かった。さらに男性では小矢部市・魚津市が、女性では滑川市・朝日町が有意に高かった。一方、女性では氷見市・高岡市・射水市・砺波市が有意に低かった。

# ⑪Ⅲ度高血圧( $\geq 180/110\text{mmHg}$ )



Ⅲ度高血圧( $\geq 180/110\text{mmHg}$ )については、男女とも入善町が有意に高かった。さらに男性では魚津市が有意に高かった。

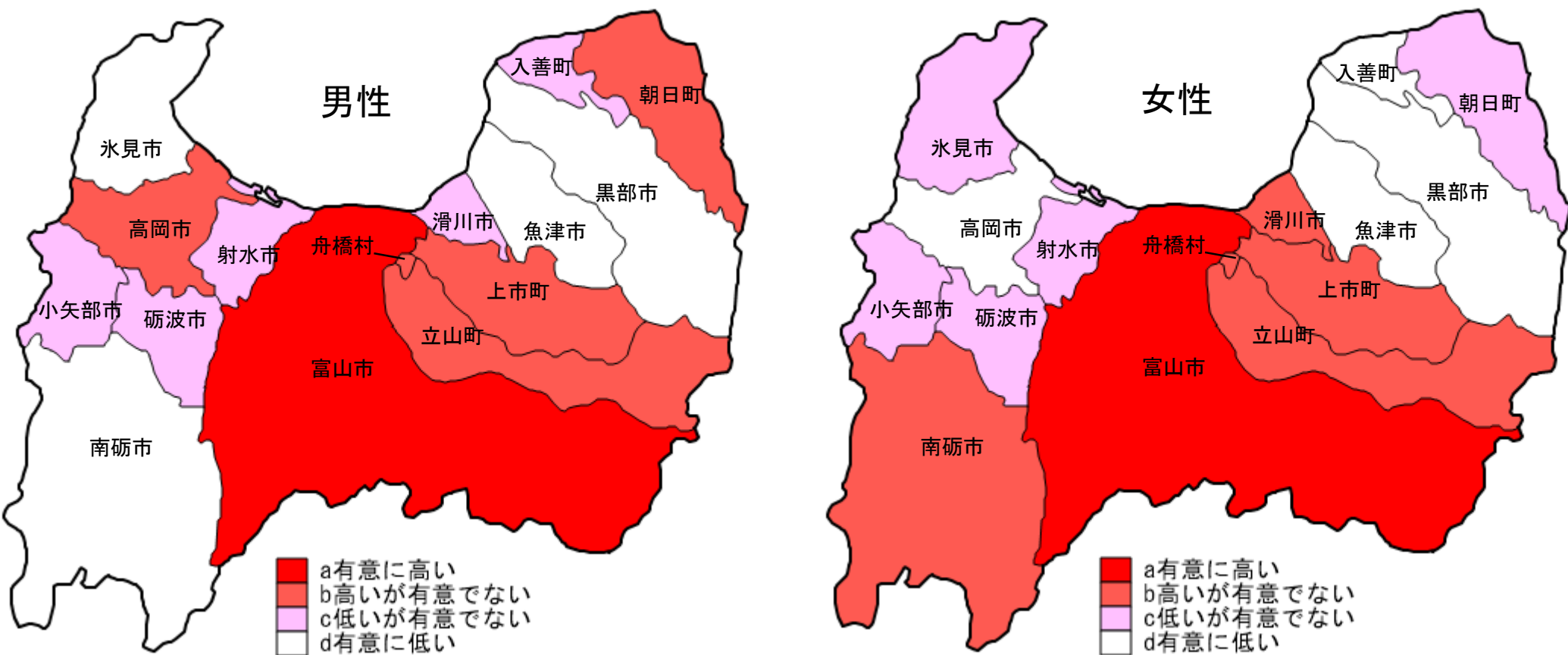
# ⑫服薬中(血圧)



服薬中(血圧)については、男女とも砺波市が有意に高かった。さらに男性では小矢部市・朝日町が有意に高かった。

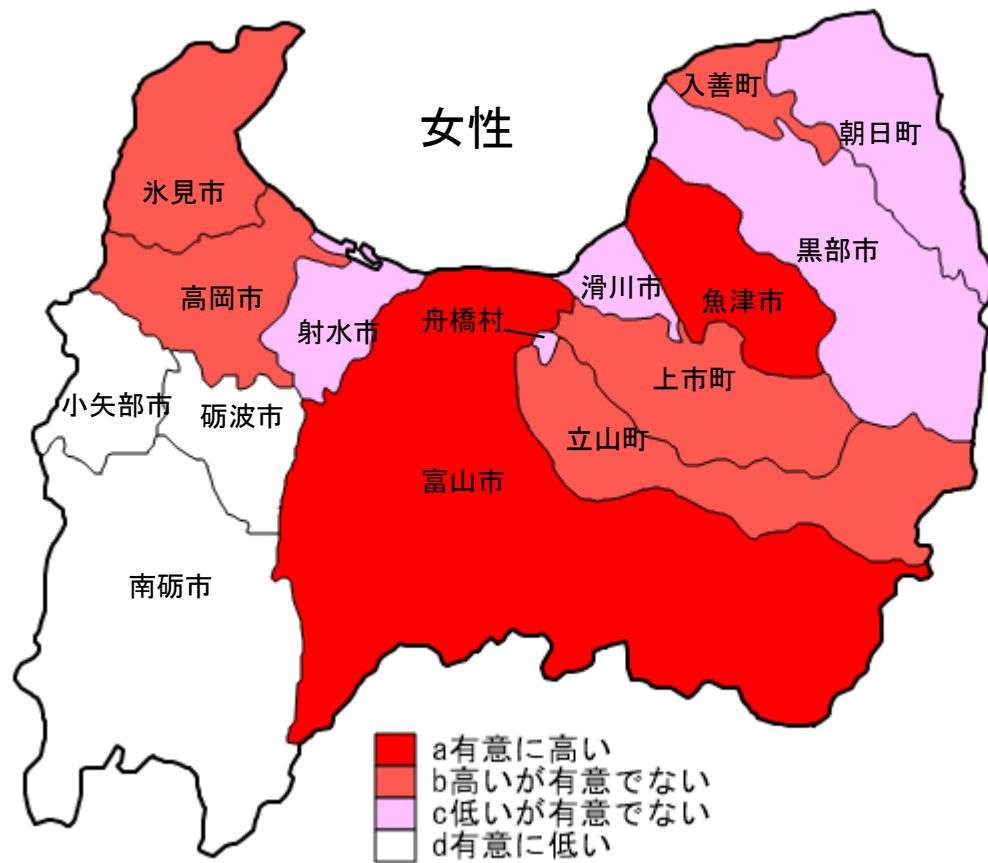
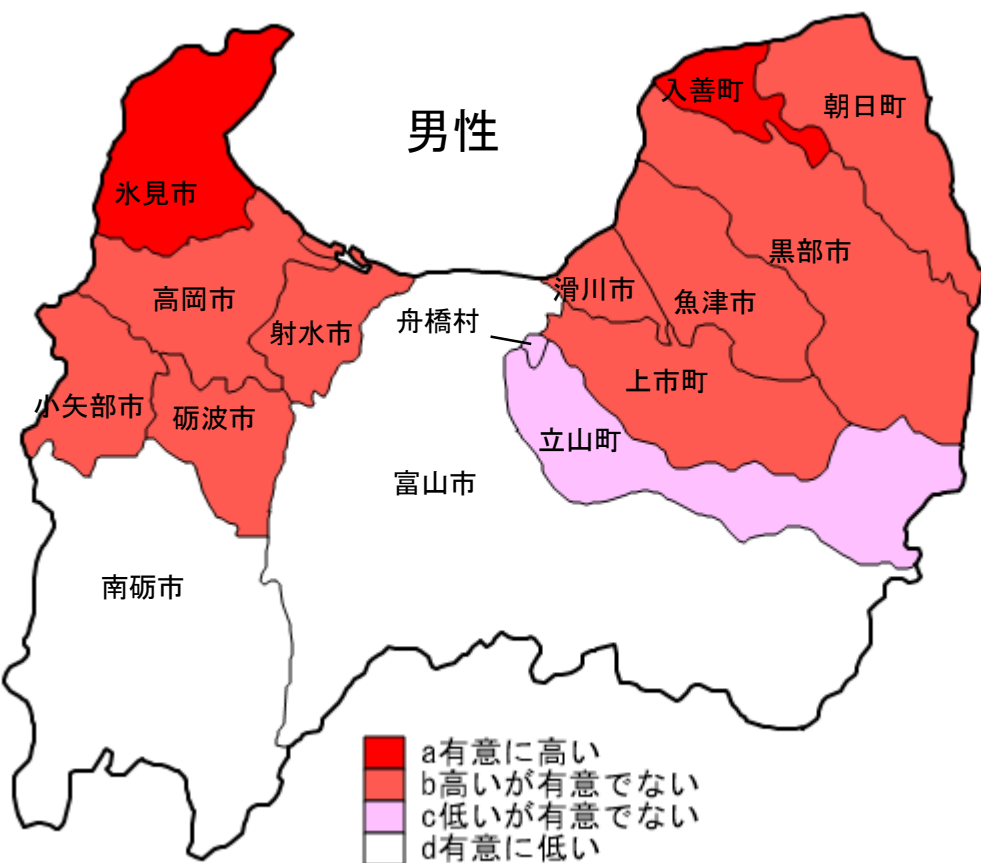
一方、男性では南砺市・魚津市が、女性では入善町が有意に低かった。

# ⑬高血圧の者のうち服薬中(血圧)



高血圧の者のうち服薬中(血圧)については、男女とも富山市が有意に高かった。  
 一方、男女とも魚津市・黒部市が有意に低かった。さらに男性では氷見市・南砺市が、  
 女性では高岡市・入善町が有意に低かった。

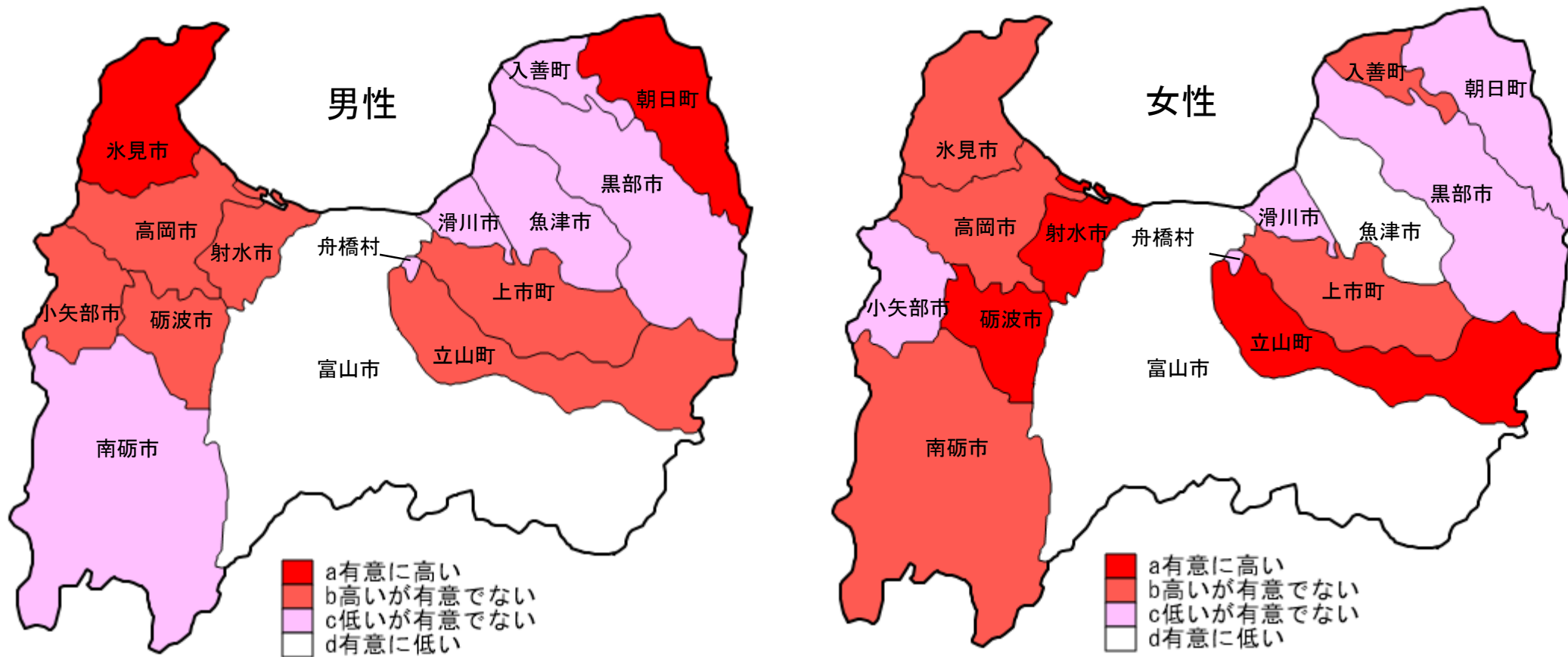
# ⑭喫煙者



喫煙者については、男性では氷見市・入善町が、女性では富山市・魚津市が有意に高かった。

一方、男女とも南砺市が有意に低かった。さらに男性では富山市が、女性では小矢部市・砺波市が有意に低かった。

# ⑮メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者については、男性では氷見市・朝日町が、女性では射水市・砺波市・立山町が有意に高かった。

一方、男女とも富山市が有意に低かった。さらに女性では魚津市が有意に低かった。

# まとめ

## (1) 血糖について

- ・協会けんぽの受検者が多い空腹時血糖( $\geq 126$ )では、男女とも富山市が有意に高かった。
- ・国保の受検者が多いHbA1c( $\geq 6.5$ )では、男女とも高岡市・小矢部市が有意に高かった。

## (2) 脂質について

- ・中性脂肪では、男女とも氷見市が有意に高かった。
- ・HDLコレステロール( $< 40$ )では、男性では氷見市が、女性では小矢部市・射水市が有意に高く、LDLコレステロール( $\geq 140$ )では、男女とも富山市が有意に高かった。

## (3) 血圧について

- ・高血圧( $\geq 140/90$ mmHgまたは服薬)では、男性では小矢部市・黒部市、女性では上市町、入善町が有意に高かった。
- ・高血圧で服薬中の者は、男女とも富山市が有意に高かった。

## (4) メタボリックシンドロームについて

- ・メタボリックシンドローム該当者は男性では氷見市・朝日町が、女性では射水市・砺波市・立山町が有意に高かった。